①さて、問題です。

あめ１個とチョコレート１個がある。
・合計金額は１１０円である。
・チョコレートは、あめよりも１００円高い。

あめ１個の金額はいくらか？

答え

「あめ１個が１０円」は、間違いです。

∵あめの金額が１０円？

あめより１００円高いチョコレートの金額は１１０円になるので…

合計金額が１０円＋１１０円＝１２０円。

「合計１１０円」という条件を満たさない

∵あめが１０円でチョコレートが１００円？

チョコレートが９０円しか高くならない

チョコレートがあめより１００円高いという条件を満たさない

答え

合計１１０円

あめ	チョコ
１円	１０９円
２円	１０８円
～	～
１０８円	２円
１０９円	１円

１０９通り

チョコがあめより１００円高い

あめ	チョコ
１円	１０１円
２円	１０２円
３円	１０３円
４円	１０４円
～	～

無限にある

両方を満たす組み合わせがある

答え

正解

あめ１個の金額をXとする。

X＋（X＋100）＝110

2X＋100＝110

2X＝10

X＝5

あめ１個は５円（チョコレートは105円で合計110円）

↑複雑な計算ではなく、１１０円＝１００円＋１０円という分かりやすい計算に引っ張られてしまう。

どうして、間違うのか？

人間の思考には２種類ある（ダニエル・カーネマン）。

①ファスト思考（直観、感覚、簡便な思考）

②スロウ思考（論理、内容吟味の思考）

脳のルール

・ファスト思考が優先

※狩猟時代からの生存本能、スロウ思考は脳に負担がかかる

・ファスト思考とスロウ思考が対立すると、スロウ思考が優先する

※スロウ思考を司る前頭前野は脳の司令塔（高次脳機能）

若い時は、

①ファスト思考が強く、②スロウ思考の制御が十分ではないことが多い

※研究によると２５歳ぐらいからスロウ思考による制御が十分になる。

※逆に、高齢になるとスロウ思考の制御が衰えてくる。

→詐欺をする側もこのような考えを理解して詐欺をしている。
「今日契約してくれたら」「今だけ」「限定●個」

対策：即断即決せず、きちんと落ち着いて考える、
人に相談することで詐欺を防げる。